２０２３年度　ヨセフ組（２歳児）　デイリープログラム

時間	子どもの生活	保育者の援助・配慮	備考
７：00	順次　登園 持ち物の始末 （お便り帳・タオル） 自由遊び	○保育室の換気・安全・清潔を点検し、受け入れの準備をする。 ○にこやかに朝のあいさつを交わし、子どもの健康状態や機嫌をよく見る。 ○異常を見出したときは、適切に対処する（特に体調不良・目の充血・外傷　など）。 ○保護者と機嫌よく別れられるように受容する。 ○異年齢児がいっしょに過ごす時間なので、子どもが落ち着いて遊べる玩具を準備し、保育者にかかわられながら安心して遊べるように環境づくりをする。 ○順次登園してくる子どもの受け入れや保護者対応が必要な時間なので、保育者の体制に留意する。 ○季節に合わせて衣服の調節をしようと誘う。自分でできるように働きかける。安全に配慮しながら遊ぶ。	●異年齢の遊びを予測。 ●出勤体制が整うまで合同の保育となる。 ●保護者に直接ようすを尋ねる。 ●保護者から担任への伝達などを聞き取る。
9：00	片づけ 排泄 水分補給	○排せつを促し、いっしょにトイレに行く。 ○水分補給がいつでもとれるように用意しておく。	●トイレの使い方を知らせる。
9：15	体操	○元気に体操できるよう促す。 ○保育者も一緒に体操する。	
9：20	職員礼拝	○子どもが好きなことをして遊べる環境を整える。	
9：50	子ども礼拝	○静かに礼拝ができるよう促す。	●保育者の見守りの中で過ごす。
10：00	朝の会 おはようの歌 出欠をとる 排泄 水分補給	○出席をとり、朝の歌を歌う。 ○手洗いや足洗い、排せつがきちんとできるかを見守り、できていないところは援助し、自分でしようとする意欲を育てる。	●ひとりでできないところを適切に援助する。 ●そのつどていねいに手順や方法を教え、いっしょに行なう。
10：10	設定保育	○日ごとの設定保育にスムーズに参加できるように、声掛け、環境作りをする。 ○子どもの日課を援助する保育者と、先に昼食の準備に当たる保育者にわかれ、配膳の用意をする。	
11：00	片づけ 排泄 手洗い 水分補給		●わかりやすいかたづけ方を工夫し、保育者もいっしょにかたづける。
11：20	食事準備・食事	○みんなでお祈りをし「いただきます」のあいさつとともに食事ができるようにする。 ○いっしょに食事をして、食べることの意欲や楽しみがわかるように言葉をかけて、好き嫌いなく食べられるように働きかける。 ○ひとりで十分に食べられない子どもへは、無理強いしないように励ましながら援助する。	●テーブルを出す。 ●配ぜん台を出す。 ●消毒液につけた台ふきを用意。 ●アレルギー食への配慮。 ●落ち着いた食事の雰囲気を心がける。
12：00	片づけ お着替え 排せつ 室内遊び 歯磨き	○「ごちそうさま」のあいさつをし、食事の片づけを行う保育者と、子どもの着脱を援助する保育者に分かれる。 ○着脱の援助をしながらひとりでやってみようとする気持ちへと導く。	
12：45	午睡の準備 絵本の読み聞かせ	○午睡までの間、子どもが食後落ち着いて遊べるような環境を整える。 ○室温・換気・寝具の調整に配慮し、午睡のための環境をつくる。	

２０２３年度　ヨセフ組（２歳児）　デイリープログラム

時間	子どもの生活	保育者の援助・配慮	備考
13：00	午睡	○読み聞かせ等で落ち着いて眠れるように雰囲気をつくる。「おやすみなさい」のあいさつをして、自分の布団がわかって横になれるように援助する。 ○優しく寝かしつけ、徐々にひとりで安心して眠れるように配慮する。添い寝が必要な子どもには付き添い優しく寝かしつける。	●自分の布団がわかるように敷く。 ●記録書き、教材作り、クラスミーティング。 ●配布物、個人帳を仕分けして、間違いなく返却する。
14：45	目覚め 寝具の片づけ 排泄	○優しい言葉をかけて心地良く目覚めさせる。 ○目覚めたら、排泄に促す。 ○おやつのための準備をする。	●パンツ・ズボンの着脱は自分でしやすいように援助する。
15：00	手洗い おやつ	○手洗いをし、自分のタオルでふけるように見守る。 ○食事時間と同じように配慮する。	●アレルギー食への配慮。
	降園準備	○タオルを自分のカバンに入れるように促す。	●身支度の援助をする保育者は落ち着いて身支度ができる環境を整える。
15：30	帰りの会 絵本の読み聞かせ	○徐々に集まりに加われるように配慮しながら待つ。 ○みんながそろうまで楽しく待てるように絵本の読み聞かせ、手遊びで過ごす。 ○子どものロッカーなどを点検して忘れ物や不足物が無いか確認する。	●健康状態を良く見る。
	降園		
15：50	自由遊び	○夕方の戸外遊びは職員数、異年齢混合などの状況を考慮して、保育の形態を常に柔軟にとらえ、クラスの枠を超えての連携で保育を展開するように心がける。	●保護者への連絡事項など再確認し、場合によって引継ぎ事項とする（配布物がある・お迎えの人がいつもと違う・時間が変更している・保育中のけがについてなど）。
	バス出発		
16：00	順次降園 自由遊び	○けがをしやすい時間帯でもあるので安全には十分注意して過ごす。	●担任がいるとは限らないので、必要なことにおいてはクラスの枠を外してかかわれるようにする。
17：00	かたづけ 排泄	○使っていた玩具をいっしょにかたづけ、帰る準備をしようと誘う。 ○しっかり汚れが取れているか見届け、できないところを援助する。 ○衣服の汚れがあるときは着替えるように言葉をかけ、身支度を整える。	
	手洗い、足洗い 水分補給	○安心して保育の時間が過ごせるように配慮する。 ○保護者への伝達、保育者間の連絡など確認し、家庭的な雰囲気で子どもが安定して過ごせるように環境をつくる。 ○保護者への伝達をし、忘れ物がないのを見届けて「さようなら」のあいさつを交わし和やかにお別れする。	●寂しくなっての愛着行動を受容する。 ●「さようなら」のあいさつとともに、直接伝達事項がない場合にも二言三言の会話を交わしコミュニケーションを図る。
18：00	園終了		